

目標達成計画

作成日: 平成 24年 3月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員の中には色々な研修を全く受けていない職員もあり、他の現在の高齢者介護の状況等の事も知らない。	この1年には職員はなにかしらの研修を受けてグループホームの介護実践に取り入れて、他の職員と共有していきます。	職員には研修がどんなに大切で必要なのか理解してもらい、研修にはどんどん積極的に参加できるように働きかけていきます。	12ヶ月
2	7	全職員が虐待について理解しているとは言い難い。	施設内外の研修には積極的に参加していき、高齢者虐待防止関連法に学び理解してもらいます。	研修には参加してもらい、研修後には施設内で勉強会を行います。また勉強会だけでなく日頃の実践に生かせるようにしていきます。	12ヶ月
3	35	施設では年2回の消防避難訓練は行っているが、地域との連携による避難訓練や緊急時における心肺蘇生法の習得している職員が少ない。	地域との消防避難訓練の実施に向けた取り組みを構築していきます。また救命講習の受講を職員が参加できるようにします。	地域運営推進会議でもっとこちらから働きかけを行い、実施に向けたプランを作ります。救命講習については消防署と話し合い出来る日等について具体的にプランを作ります。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。